

平成24 年度（ 23 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 24 年 10 月 2 日

1 事務事業 の 現状 (D O)	事務事業名	No. 610301	公共交通推進事業				主管課名	企画政策課			
	この事務事業 の位置	政策	安全で安心して住み続けることができる地域				課長名	柴田圭一			
		施策	誰もが安心して出かけられるまち								
		基本事業	さんさんバスの充実								
	(1)事業の概要										
	市民の足となる独自の交通システムの整備を図り、市内における移動の利便性の向上のため、平成13年度から運行を開始し、バスロケーションシステムを導入するなど利用者のサービス向上に努めている。 平成16年10月1日には車両を2台を追加し、4台体制で2路線を運行している。また、バス路線の未巡回地区には、乗合タクシーサービスにより交通不便の解消を図っている。						(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)				
							名 称		単 位		
							さんさんバスの運行に要する経費		千円		
							その指標				
	(23年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		コミュニティバスを運行することにより、市内における公共交通の利便を図った。有識者15名で構成するさんさんバス利用促進審議会を開催し、利用の促進と利便性の高い運行を行うため路線再編の検討を行った。								
24年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容	バス車両を2台増車してバス路線を再編する								
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)						(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)					
市民						名 称		単 位			
						人口		人			
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)						(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)					
誰もが利用できる公共交通の確保をする 公共交通利用者を増加させる						名 称		単 位			
						さんさんバス利用者数		人			
						さんさんバスの運行本数		便			
						近隣市町のコミュニティバスとの連携数		路線			
(4)結果(上位基本事業の意図：基本事業にどのように貢献するか)						(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)					
安心して便利に公共交通を利用できる						名 称		単 位			
						公共交通対策アンケートでやや満足以上の回答割合		%			
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標	年度	単位	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値			
(5)の活動指標		千円	94,512	98,802	84,060	125,148	83,100	126,039			
(6)の対象指標		人	58,216	58,762	60,600	61,400	62,500	63,700			
(7)の成果指標		人	259,179	264,662	311,000	320,000	325,000	330,000			
		便	22	22	30	30	30	30			
		路線	2	2	2	2	2	2			
(8)の結果の成果指標		%	51.1	46.9	48	50	52	54			
(10)予算費目											
会計		01 一般会計				款	02	項	01	目	01
(11)コスト											
年度		22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値				
事業費(決算又は予算額)		単位	95,350	100,626	88,773	89,302	128,102	85,802			
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	39,094	1	1	40,001	1			
	一般財源	千円	95,350	61,532	88,772	89,301	88,101	85,801			
人件費B		千円	8,962	14,236	9,806	9,806	9,806	9,806			
正職員従事時間×人数		時間×人	810×3	1,263×3	870×3	870×3	870×3	870×3			
正職員以外の人件費		千円									
その他費用C		千円	0	59							
トータルコストA+B+C		千円	104,312	114,921	98,579	99,108	137,908	95,608			
単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標)		千円/人	2	2	2	2	2	2			

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	610301	公共交通推進事業
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？			(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	平成13年4月28日 から			<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たなバス利用促進方策の検討</li> <li>・近隣市町との相互乗り入れの検討</li> <li>・新たな道路網開通、住宅開発完了による路線の再検討及びこれに伴うバス台数増加による経費の増大への対応</li> </ul>
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？			
市民意識調査の結果				
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？				
変化していない		変化している	変化した内容	民間バス路線の廃止

3 評価(SEE)	目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務	→	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する	
		自治事務	→	根拠法令	なし		
		この事務を行う根拠又は理由	→	理由	市民の生活の足の確保と環境負荷の軽減を図るため		
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく	→	理由			
	結びつかない	→	理由				
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる	→	内容			
	できない	→	拡大			縮小	
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる	→	内容			
	できない	→	追加			拡充	絞込み
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい	→			理由又は内容	
多少影響がある	→						
影響はない							
有効性	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？	できる	→	理由又は内容	新たな利用促進策として、路線の再編やダイヤの改正及び近隣コミュニティバスとのネットワーク化により利便性を向上させる。		
	1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できない					
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある	→	類似事業名	名鉄バス、三好丘ループバス		
ない	→	類似事業との再編の可能性	ある	→	内容		
効率性	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある	→	内容	車内広告募集により収入の確保を図る。		
	ない	→	内容				
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある	→	内容			
ない	→	内容					
公平性	(10)受益者負担はありますか？また、受益者負担割合は適正ですか？	ある	→	内容	路線拡充に伴う経費増大に対応した受益者負担の見直しを検討する必要がある		
	ない	→				現状で適正	検討が必要
受益者がいない	→	内容					

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等 の見直しなど	今後、さんさんバスを中心とした更なるバス利用の促進を図るとともに、近隣市町のコミュニティバスとのネットワーク化を推進し、より利便性の高い公共交通システムを確立する必要がある。市長マニフェストに掲げたバス路線の拡充を平成24年度に実施する。					